

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

22) 祈りについて

マタイ 6:5-15

2019.8.4 HKJCF

1

概観

自分の親と話しているように祈るというのは、意識の改革が必要であり、「主の祈り」という原型を通して祈りについて学ぼう。

アウトライン

- | | |
|--------------|--------|
| 1. 御国の民の姿勢 | V5-8 |
| 2. 御国の民の祈り① | V9-10 |
| 3. 御国の民の祈り ② | V11-13 |
| 4. 御国の民の恵み | V14-15 |

2

1. 御国の民の姿勢 V5-8

- 1) 会堂や通りで：9AM、12PM、3PM（ダニエル 6:10）。**動機**の重要性；**偽善者**の祈りと報い。
- 2) 戸をしめ、**隠れた所に**：神様と自分だけ。人の目と誘惑から遮断；**心の内**を注ぎ出す。
- 3) **同じ言葉を繰り返す**：異教の神の名前を**順番に呼び起こす**；呪文のように。
- 4) 必要を知っておられる父：**愛と憐れみ**に満ちた天の父；**抛り頼みつづける姿勢**。答えを通して**主の御手を知る**。

3

2. 御国の民の祈り① V9-10

祈りの対象：「**天にいます私たちの父**」；**憐れみの神**（詩篇103:13）；**へりくだり**（マタイ 18:4）。

- ①**御名があがめられる**：神ご自身を**神として認め**、全被造物から**区別し礼拝する**ように。
- ②**御国が来る**：1) **福音宣教**：一人でも多く；
2) **再臨**：完全な勝利と祝福。
- ③**御心が天と地で行われる**：**天と地の違い**；**サタンの働き**、人間の欲と罪。御心を知る＝御言葉→**神のもの**の見方（詩篇119:105）。

4

3. 御国の民の祈り② V11-13

- 祈りの原型：①②③＝神に；④⑤⑥＝人に。
- ④＝**現在**；⑤＝**過去**；⑥＝**将来**。
- ④**日ごとの糧を与えて下さい**：その日その日に必要なもの→**マナ**；**共同体**の分かち合い。
- ⑤**負い目を赦して下さい**：**借金**＝（ὀφειλήμα, *opheiléma*）；**聖さの基準**に到達できない。
- ⑥**試みに会わせず、悪より救って下さい**：罪や悪に対して**弱さを認める**；**誘惑**そのものに遭わないように；**神の助け**（詩篇 72:13-14）。

5

4. 御国の民の恵み V14-15

- 1) **V12 負い目のある人**たちを赦した：主の祈りの前に、ほかの人の罪を赦す必要性。
- 2) **先に恵みを受けた者**として：神の赦しの恵みにあずかる者の**実際生活における実践**。
- 3) **迫害者のために祈る**：**愛の実践**＝祈りを通して**相手を祝福する**ように（マタイ 5:44）。
- 4) **恵みを受けるために**：赦しは**恵みの取引**ではない。自分の手でつかんでいる感情を手放す**プロセス**；癒しは**救いの完成**。

6